

新4K8K衛星放送普及促進セミナーを開催 ～放送開始に向けた周知啓発の取組と技術課題を解説～

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成30年5月24日、金沢東急ホテルにおいて、北陸受信環境クリーン協議会（会長 山田 耕太郎 福井テレビジョン放送株式会社代表取締役社長）と北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）との共催で、「新4K8K衛星放送普及促進セミナー」を開催し40名が参加しました。

総務省では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向け4K・8K放送の普及を目指しており、北陸総合通信局では、関係機関などと連携してその普及促進に取り組んでいます。

本セミナーでは、本年12月1日の新4K8K衛星放送開始に向けた取組と、電波漏洩対策など技術課題について講演を行いました。

はじめに、一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の宇佐美 雄司 氏から、新4K8K衛星放送の普及に向けた周知啓発と電波漏洩対策の助成制度や技術講習会の開催など、放送開始に向けた取組の現状を紹介しました。

次に、一般社団法人日本CATV技術協会中部支部の児玉 光弘 氏からは、技術基準を満たさない機器からの電波漏洩による無線LANなど他の無線局への影響や、受信世帯が遮蔽性能の低い機器を使用している場合に電子レンジなどの機器から受ける妨害の事例から、受信設備のチェックと基準不適合設備への対策の必要性を説明しました。



A-PAB 宇佐美 氏



日本CATV技術協会 児玉 氏

講演1 「新4K8K衛星放送 普及に向けた取り組み」
講師 一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
4K8K推進センター長 宇佐美 雄司 氏

講演2 「4K・8K衛星放送受信システムについて」
講師 一般社団法人日本CATV技術協会中部支部
北陸地区支部 児玉 光弘 氏